



校長室だより

2025 年 7 月 18 日
丹波市立進修小学校
校長 松田 亜矢

1学期の子どもたちの成長やがんばりを振り返って
保護者の方への感謝の気持ちを大切にしたいです

今日で1学期が終わり、明日から長い夏休みに入ります。長い1学期、子どもたち一人一人のがんばりがたくさん見えて、誰もが成長したと思います。これは、保護者の皆様の支えがあつての成長です。本当にありがとうございます。

終業式では、私がいつも話している3つの力 自律 挑戦 つながりについて、大きく成長してくれたこととお話しました。

まずは一つ目の自律する力についてです。
自分で考え主体的に行動する姿を見てきました。

例えば6年生は、企画委員会が先生と考える前に先に進んで考えたり、最高学年としてみんなを引っ張ったりすることをがんばったという人がいました。

5年生や2年生で多かったのはノーチャイムになったけれど時計を見て、授業のはじまりを意識して座れた人が多かったです。

3年生や4年生や5年生では困っている人に声をかけたり、休みの人に進んで連絡を書いたりしてくれました。

5,6年生では、避難訓練や不審者対応訓練で話を聞くことを意識したり、避難場所を低学年に教えたりして避難できていました。

1年生は、初めての小学校生活に慣れるために一生懸命に先生の話聞いて勉強していました。

これからも自律する力 自分で考え行動する力を大切にしていきたいです。

挑戦する力とは

新しいことにチャレンジしたり、目標に向かってあきらめずに取り組んだりしたことです。



4, 5月のテストより少し点数を高く取ろうと思って、目標を決めて頑張った人がいます。また、友だちを楽しませるために係活動にチャレンジした人もいます。

国語の学習で自分で計画を立てて取り組んでいる姿もありました。



苦手なプールでも何度も練習して泳げるようにながなばっていました。

あきらめずに挑戦し続ける気持ちは、どんな困難にも立ち向かえる勇気をくれます。

夏休みもいろいろなことに挑戦してほしいです。



つながる力については

友だちの気持ちを考えて行動する力です

特にいつも笑顔で大きな声で挨拶をしている人は、たくさんの友だちがいつも周りにいると感じました。友だちのことを考えて優しい声かけをしたり、仲良く遊んだりしていました。また、友だちと一緒に教えあって勉強する姿がどの学年にも見られました。友だちと協力し合ってわからないことをわかるようにすること、これは人とつながる力も自律する力もつけることになります。



つながる力をつけることで、独りではできないこともできるようになります。

これからも友だちを大切にして、助け合い、励まし合える進修っ子でいてほしいです。

今日お配りしたあゆみは、一人一人のがんばりの成果です。どの学習の何をがんばったのかお子様と一緒に振り返ってください。

今日からの長い夏休みも自律 挑戦 つながりを意識していろいろな経験をしてさらに大きく成長してくれることを期待しています。保護者の皆様のご支援、ご協力をありがとうございました。2 学期も引き続きよろしくお願いします。